

木を使った工作をしよう

担当：植物研究室

1 内容

木にはいろいろな性質がある。それぞれの木の堅さに注目して、いろいろな木でバードコール（木を擦り併せて鳥の鳴き声をまねる器具）を作りながら、材の違いを体感する。

【木の性質いろいろ】

木は縦に強い・・・割りばしや鉛筆，つまようじに利用。

木は熱を伝えにくい・・・熱の伝わりやすさは，鉄の約 500 分の 1，コンクリートの約 10 分の 1。

木は水にも強い・・・しょうゆや味噌の樽，風呂桶，貯水桶に使われている。

木は堅くてしなやか・・・野球のバットや体育館の床など，力を支える強度と衝撃を弱める柔軟性が必要な部分に利用されている。

木は快適空間をつくる・・・木は空気中の水分を調節し，湿度を一定に保つはたらきがある。

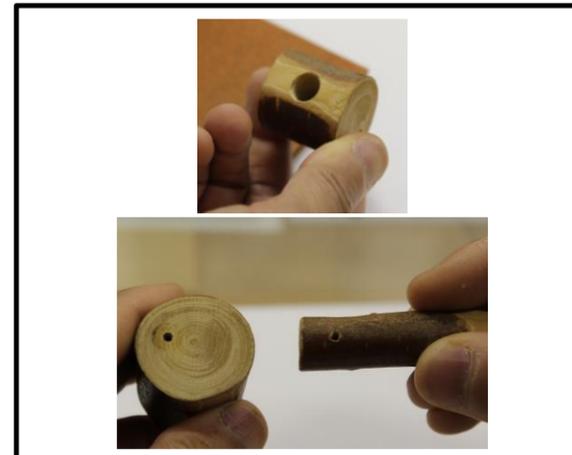
博物館の収蔵庫も床，壁，天井はすべて木でできている。

2 準備物

写真のような大きさの木片2つ（数種類），小刀，サンドペーパー，電動ドリル，ひも，作業台，説明プリント，テグス

（事前準備）

- ・材料の木を事前に採取し，乾燥しておく。
- ・事前にドリルを使って写真のような穴を木片に開けておく。



3 手順

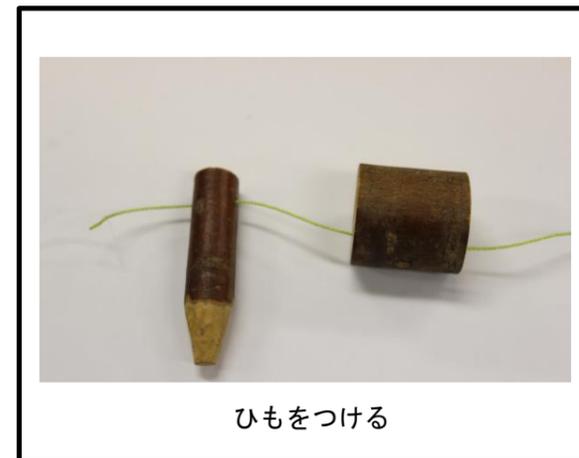
- (1) 長細い方の木片の先端を小刀で写真のようにけずる。
- (2) もう一方の木片の穴の空いている方をサンドペーパーでけずり，平らな面にする。
- (3) 2つの木片を写真(4枚目)のようにあわせ，こすり合わせると鳥の鳴き声のような音が出る。
- (4) 2つの木片の小さな穴にひもをつけて，首にぶら下げられるようにして完成。



小刀で木をけずる



サンドペーパーで木をけずる



ひもをつける



完成！

4 注意点

- ・小刀を使用するのでケガに注意すること。
- ・小刀で木をけずる際，けずりすぎると木片と木片の間がゆるすぎて音が鳴らなくなるので，少しずつ調整しながら木をけずること。
- ・木片の小さな穴にひもを通すときには，テグスを利用するとよい。

5 参考資料

バードコールの作り方. 伊那谷こども村. www.kodomomura.jp